

「瑞穂小だより」

令和7年 6月23日

令和7年度 第7号

電子

伊丹市立瑞穂小学校 校長室

＜学校教育目標＞『「いのち」かがやく 瑞穂の子 ～心豊かに たくましく～』

ーあしたも来たいと思える学校ー

心豊かにたくましく 輝く生命を大切に 平和を創る人へ

～ 修学旅行で学んだこと ～

6年生は5月30日～31日、広島・宮島方面へ修学旅行に行ってきました。今年、宿舎等の関係で金土に行くことになり、混雑も心配していました。皆様のご支援のお陰で、小学校生活最後の宿泊行事は、全行程を無事終え、貴重な学びにすることができました。ありがとうございました。



「なぜ広島に行ったのか」それは「人間にとって一番大切な生命と平和を学ぶため」です。

子どもたちは、実行委員会を組んで、「最高学年として、Prideをもって、自分達で学び、未来へつなげよう」とのスローガンとともに、各係の目標やめあても決めて、主体的に準備を進めてきました。



広島平和公園では、まず、「原爆の子の像」の前で、「平和セレモニー」を行いました。

「平和の心をつなぎます」との「誓いの言葉」を述べました。

全校生で平和を願い心を込めて折った千羽鶴を捧げました。

黙祷をして、平和な社会を作りたいことを誓い合いました。

そして「千羽鶴の歌」の綺麗な歌声が平和公園に広がりました。

外国から来られた方も足を止めて、子どもたちの歌声を熱心に聴いてくださいました。厳粛な雰囲気の中でセレモニーを行える6年生をたくましく感じました。

昼食後、「広島平和記念資料館」を見学しました。

インターネット等で見ていた子もいましたが、実際にリアルで見学すると新しい気付きもあったようです。

「貞子さんの鶴」や、ウクライナの大統領が言及した「人影の石」等では、足を止めてとても熱心に見学していました。

また、懸命にメモを取り、友達と話し合う姿も多く見られました。日頃から磨いてきた学び方が生かされていました。



そして、証言者の飯田國彦さんから貴重な講話を伺いました。

飯田さんは、3歳の時に被爆されました。家族の方が次々と亡くなる中を、祖母や親戚の方に育ててもらい、「つらいことを思い出した時は、同級生が話を聞いて励ましてくれた」とのお話は心に残りました。

そして、「世界中の人たちがずっと地球と平和に暮らせるように」と願い、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現へ運動をされていて、「不満な社会で戦争は起こる。平和な社会に戦争はない。身近な平和運動が大切です。広島で思ったこと感じたことを知らせてほしい。」とのメッセージを託されました。そして、代表児童から、お礼と感謝と誓いの心をお伝えしました。

班活動で「碑巡り」を行いました。

学校で事前に行きたいところを班で相談していました。この日もみんなで協力して時間を有効に使って熱心に活動できました。



私が初めて修学旅行の引率をしたのは約 30 年前。それから資料館等が建て替えられました。

私には広島に来る度に変わることなく学び続ける心があります。

『戦争ほど、残酷なものはない、悲惨なものはないこと』

平和資料館や証言者の方のお話から、一発の原爆で、広島の街が火の海になってしまい、多くの生命が一瞬でなくなってしまうことを学ぶとともに、無念だったと感じました。また、放射能の影響が後々にでて、今でも苦しんでいる方もおられることなどを学び直し、原爆の恐ろしさを実感しました。

『平和ほど、尊いものはない、幸福なものはないこと』

2 年前のサミットは、広島で開催されました。世界の国々のリーダーも平和公園を訪れ、資料館等を視察されました。修学旅行中にも世界中から来られた方にお会いしました。戦争について学び、平和になるためにどうしたら良いかを真剣に考えておられました。

「平和を願う心に国境はない」と思いました。



2 日目は宮島です。

朝から快晴でした。バスで宮島口まで向かい、そこからフェリーで宮島に到着しました。

厳島神社を歴史の重みを感じながら見学しました。この日は、海の中に立つ大鳥居に出会うことができ、参拝を終えてから、砂浜で大鳥居をバックに全体写真を撮りました。



「買い物タイム」では、家族の方などの顔を思い浮かべながら、しっかり計算して、お土産をガッチリ買っていました。お店の方にも相談している姿も見かけました。班のメンバーと協力して行動していました。



帰りのフェリーも満員でしたが、乗り降り等も立派でした。宮島口駅から広島駅までは、JR 在来線に乗りました。疲れが出てきていますが、電車の中ではマナーを守り、静かに過ごしていました。また、席を譲っている子もいました。新幹線の中でも瑞穂の子の優しさが輝いていました。そして、子どもたちは、広島での貴重な思い出を胸に刻んで、瑞穂小学校に帰ってきました。



今回の修学旅行は、天候にも恵まれ、6 年生は先生の話をしっかり聞き、機敏に行動できるので、すべての計画を進めることができました。また、友達等と楽しく過ごす時を大切にすると共に、集合の仕方や電車内等のマナーを守って取り組む姿勢がどんどん良くなってきました。

広島で「平和について学んだ 2 日間」は、瑞穂小の最高学年として立派な行動でした。みんなで協力して成長する姿に、本校のリーダーとして頼もしく感じました。スローガンである見事な「Pride」を発揮していました。また、最高の思い出づくりも大成功しました。そして修学旅行から「未来へつなげる」新たな出発をすることもできました。今後も、輝く生命を大切にして平和を創る人としての大活躍を期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、子どもたちの健康管理や荷物準備等でご支援・ご協力いただき、心から感謝しています。また、お見送りとお出迎えには、たくさんの方に来ていただきました。誠にありがとうございました。